

たいじょうほうしん

带状疱疹 こんな病気

監修

東京女子医科大学 名誉教授 川島 眞 先生

1 帯状疱疹ってどんな病

たいじょうほうしん

帯状疱疹の特徴

身体の左右どちらか一方に、ピリピリと刺すような痛みと、これに続いて赤い斑点と小さな水ぶくれが帯状にあらわれる病気です。この症状に由来して、「帯状疱疹」という病名がつけられました。

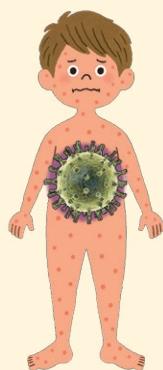
水ぼうそうと帯状疱疹の関係

水痘・
帯状疱疹ウイルス



空気感染

初感染



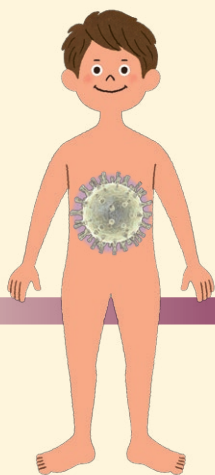
子ども

水ぼうそう

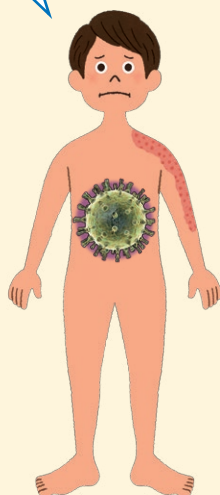
- はじめて水痘・帯状疱疹ウイルスに感染したときは、水ぼうそうとして発症します。

気？

水ぼうそうにかかったことのある人は、
誰でも帯状疱疹になる可能性があります。



せんぷく
潜伏感染

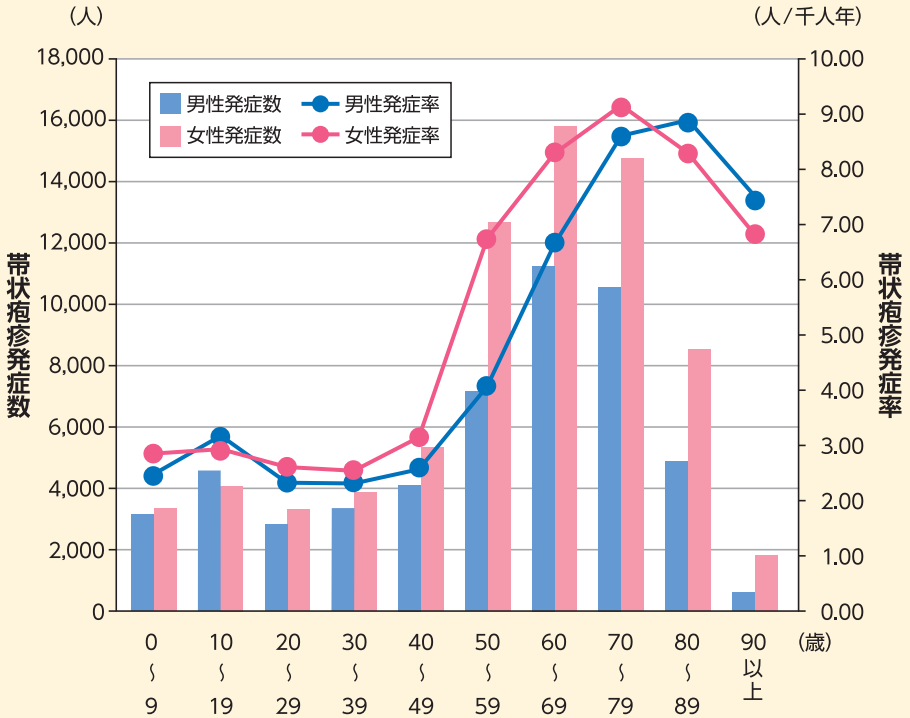


おとな
帯状疱疹

● 水ぼうそうが治ったあとも、ウイルスは体内の神経節に潜んでいます。

● **加齢やストレス、過労などが引き金**となってウイルスに対する免疫力が低下すると、潜んでいたウイルスが再び活動を始め、神経を伝って皮膚に到達し、帯状疱疹として発症します。

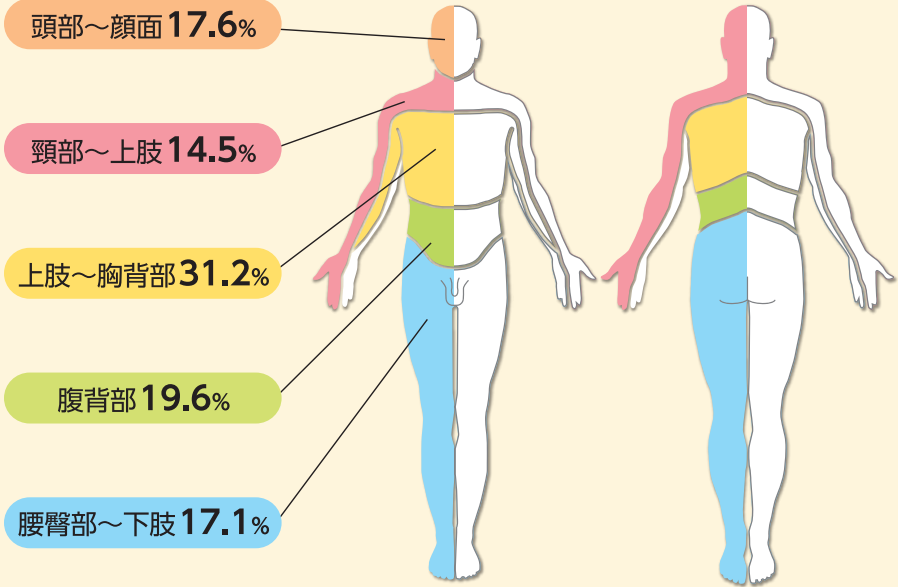
発症年齢



外山皮膚科 院長 外山望先生ご提供 (宮崎スタディ (1997~2019年))

- 60歳代を中心に50歳代~70歳代に多くみられる病気ですが、過労やストレスが引き金となり若い人に発症することも珍しくありません。
- 通常は生涯に1度の発症とされていますが、複数回発症することもあります。

主な発症部位



石川博康ら：日皮会誌, 113 (8), 1229 (2003)

- 一般に、身体の左右どちらか一方の神経に沿って帯状にあらわれるのが特徴です。
- 胸から背中にかけて最も多くみられ、全体の半数以上が上半身に発症します。また、顔面、特に眼の周囲も発症しやすい部位です。

2

帯状疱疹の症状

時間

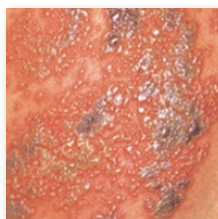
<p>皮膚症状</p>		<p>● 赤い斑点</p>  <p>神経に沿って帯状にやや盛り上がった赤い斑点があらわれます。</p>	<p>● 水ぶくれ</p>  <p>続いて赤い斑点上に水ぶくれがあらわれます。</p>
<p>痛み</p>	<p>赤い斑点のあらわれる数日～1週間ほど前から、皮膚の違和感やピリピリ感などの神経痛を伴うことがあります。</p>	<p>● 帯状疱疹痛</p> <p>皮膚と神経の両方でウイルスが増殖だけでなく強い痛みが生じます。</p>	

発熱
etc...



経過

● ただれ



水ぶくれは破れてただれた状態となり、約3週間でかさぶたへと変わります。

● かさぶた



はんこん

● 癬痕(あと)

かさぶたが取れて治っていきますが、皮膚のダメージが大きいと「あと」になる場合があります。

(急性期痛)

て炎症が起こっているため、皮膚症状

● 帯状疱疹後神経痛

痛みは皮膚の症状が治まるとともに消えていきますが、後遺症として痛みが残ることがあります。

新村真人：感染・炎症・免疫, 31 (4), 295 (2001) より改変

合併症

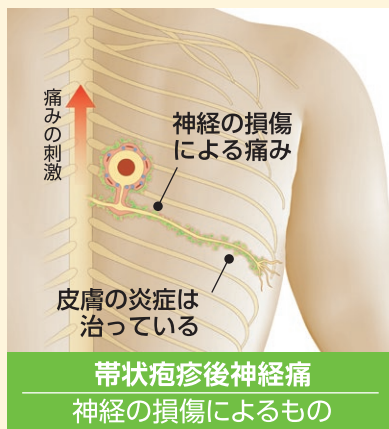
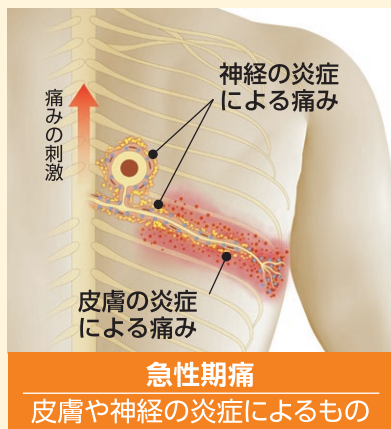
一般的な合併症として、発熱や頭痛がみられることがあります。また、顔面の帯状疱疹では、眼の角膜や結膜の炎症などを起こすことがあります。その他の合併症として、まれに耳鳴りや難聴、顔面の神経麻痺^{まひ}などが生じることがありますので、気になる症状がありましたら主治医にご相談ください。

3 気をつけるべき後遺症

たいじょうほうしんごしんけいつう

带状疱疹後神経痛という、やっかいな後遺症

通常、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、その後もピリピリするような痛みが持続することがあります。これを带状疱疹後神経痛といいます。これは急性期の炎症によって神経に強い損傷が生じたことによって起こります。



带状疱疹後神経痛が残った場合は、ペインクリニックなどでの専門的な治療が必要となる場合があります。

次のような人は、带状疱疹後神経痛が残る可能性が高いため、注意が必要です。

皮膚症状が
重症

夜も眠れない
ほど強い痛み

50代以上

4 帯状疱疹の治療

治療の基本は抗ヘルペスウイルス薬

治療は、抗ヘルペスウイルス薬を中心に行われます。抗ヘルペスウイルス薬はウイルスの増殖を抑えることにより、急性期の皮膚症状や痛みなどをやわらげ、治るまでの期間を短縮します。

また、必要に応じて、消炎鎮痛薬が使われたり、痛みに対して神経ブロックという治療が行われることがあります。

できるだけ早く治療を開始しましょう

抗ヘルペスウイルス薬は、発病早期に服用を開始するほど、治療効果が期待できます。

帯状疱疹の特徴的な症状を自覚したら、できる限り早く医師にご相談ください。

抗ヘルペスウイルス薬の飲み薬は、効果があらわれるまでに2日程度かかります。

服用してすぐに効果があらわれないからといって、服用量を増やしたり、途中でやめたりしないで、指示通りに服用してください。

医師から水分摂取を指示されている場合は意識的に水分を多く摂りましょう。

ウイルスの増殖を抑えることで



*帯状疱疹後神経痛の治療については神経障害性疼痛治療薬や抗うつ薬などが用いられています。

5 治療・日常生活の注意

抗ヘルペスウイルス薬の飲み方に注意しましょう

抗ヘルペスウイルス薬は、決められた量を決められた日数飲まないと十分な効果が得られません。

また、食後に服用しないと十分な効果が得られない飲み薬もあります。

指示をきちんと守りましょう。



できるだけ安静にしましょう

帯状疱疹は疲労やストレスが原因となり、免疫力が低下したときに発症します。

十分な睡眠と栄養をとり、精神的・肉体的な安静を心がけることが回復への近道です。



水ぶくれは破らないように気をつけましょう

水ぶくれが破れると、細菌による感染が起りやすくなります。

細菌による化膿^{かのう}を防ぐためにも、患部は触らないようにしましょう。



小さな子どもとの接触は控えましょう

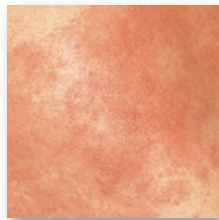
带状疱疹が他の人にうつることはありませんが、水痘ワクチンを接種しておらず、水ぼうそうにかかったことのない乳幼児には水ぼうそうを発症させる可能性があります。



帯

带状疱疹は早期に適切な治療を行うことで、症状を軽くし、合併症や後遺症である带状疱疹後神経痛のリスクを減らすことができます。

带状疱疹かなと思ったら、早めに医師にご相談ください。



病医院名